



トステム株式会社

アルファテラス F型 標準タイプ(12・15尺) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。

冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

・それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。

一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当 [600N/m² (61.2 kgf/m²)]

特殊地域1500タイプ→耐えられる積雪量の目安50cm相当 [1500N/m² (153.0 kgf/m²)]

特殊地域3000タイプ→耐えられる積雪量の目安100cm相当 [3000N/m² (305.9 kgf/m²)]

・本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。

・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。

・他社商品(バルコニーなど)と組合わせて設置しないでください。

・高い建物のそばや周りに障害物がなく、直接強い風が吹くような場所では補強プレスで製品の補強をしてください。

・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。

・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。

・崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

●躯体への固定

・垂木掛け、柱壁付固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。

・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。

・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。

・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

●取付け時の足場について

・取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

●基礎について

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。

・海砂を使用の場合は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。

・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。

・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。

・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(Φ6)をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

・養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えるたりしないよう指示してください。

・コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。

●パネルについて

・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。

・屋根の取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

・みだりに改造・変更をしないでください。

・前枠の内観右側にブランドラベルが張っています。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくならないようにしてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

・シーリングは指定個所に必ず行ってください。

・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■アルファテラス 標準タイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5・6尺	○	○	×
7~10尺	○	×	×
12・15尺			

■アルファテラス 下止めタイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5~7尺	○	○	×

※3.0間通しは、1階のみ設置可能です。



■シーリングメーカー

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・東レシリコーン SE960

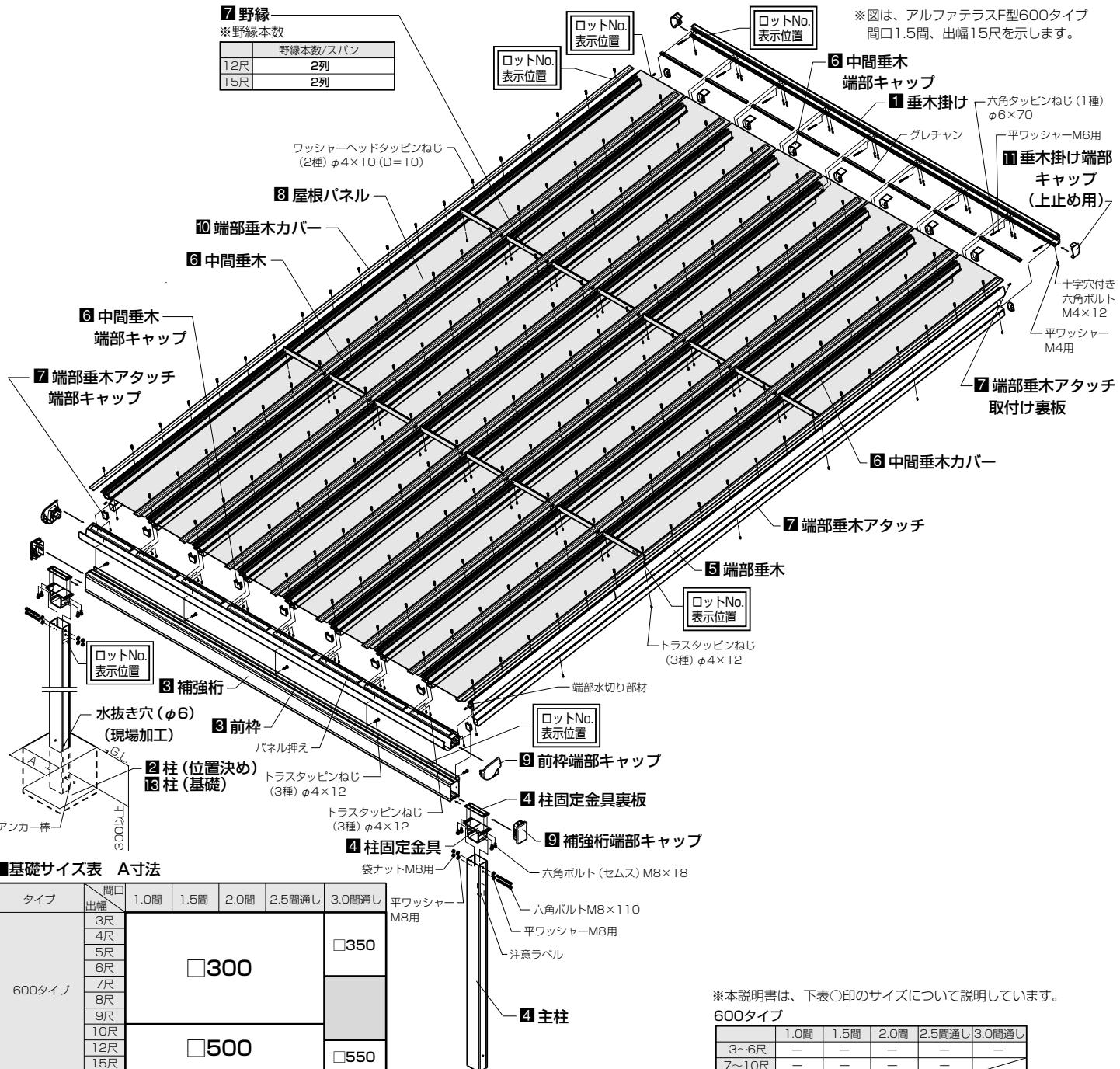
■取付け上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確にしてください。

●取付けは専門業者が行ってください。

●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

■構造説明図



■基礎サイズ表 A寸法

タイプ	間口 出幅	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
600タイプ	3尺	<input type="checkbox"/> 300				<input type="checkbox"/> 350
	4尺					
	5尺					
	6尺					
	7尺					
	8尺					
	9尺					
	10尺	<input type="checkbox"/> 500				
	12尺					
	15尺					<input type="checkbox"/> 550
1500タイプ	3尺	<input type="checkbox"/> 300				
	4尺					
	5尺					
	6尺					
	7尺					
	8尺					
	9尺					
3000タイプ	3尺	<input type="checkbox"/> 500				
	4尺					
	5尺					
	6尺					

※本説明書は、下表○印のサイズについて説明しています。

600タイプ					
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
3~6尺	—	—	—	—	—
7~10尺	—	—	—	—	—
12~15尺	○	○	○	○	○

1500タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間
3~6尺	—	—	—
7~9尺	—	—	—

3000タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間
3~6尺	—	—	—

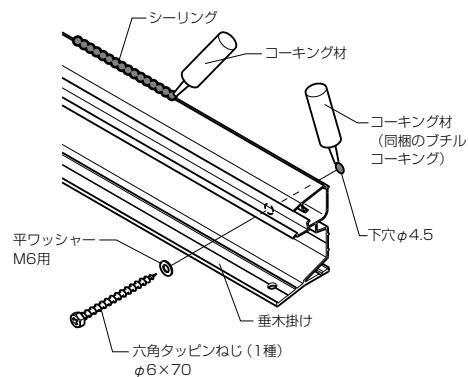
■取付け詳細

1 垂木掛けの固定

●垂木掛けを軸体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

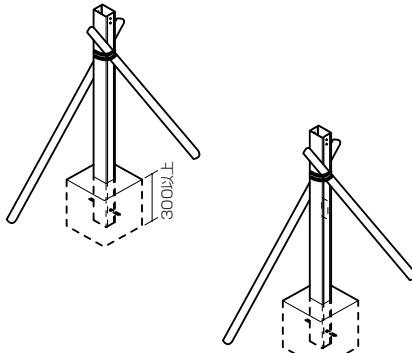
！注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
 - 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
 - 指定の個所に必ずシーリングしてください。

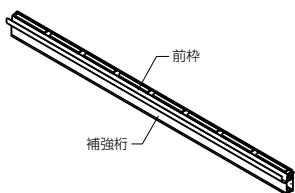


2 柱の位置決め

- ①柱埋込み位置決定
- ②柱の仮固定

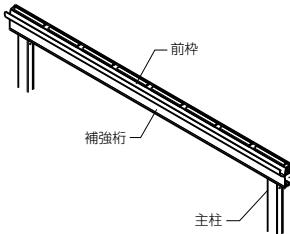


3 前枠-補強桁の取付け



4 柱-前枠・補強桁の取付け

- ①柱固定金具と前枠・補強桁の固定
- ②柱固定金具と柱の固定

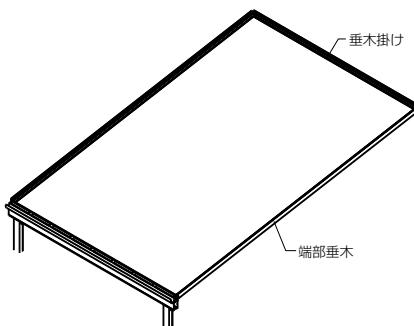


※間口が大きい場合補強桁の重量が重くなるため、補強桁を柱に取付けた後、前枠を補強桁に取付けてください。

▲ 注意

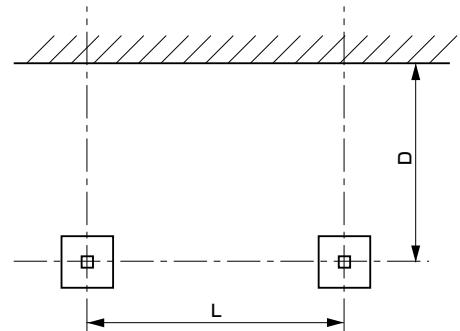
- 前枠の内観右側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際は、ブランドラベルがなくならないようにしてください。

5 端部垂木の取付け



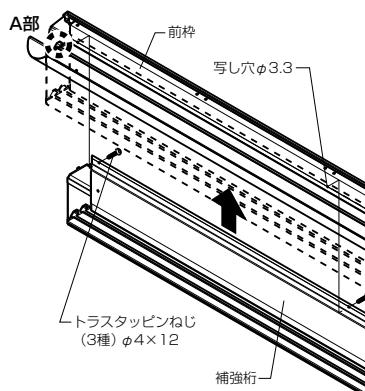
2 柱の位置決め

- ※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。
- ①柱埋込み位置を出し基礎穴を掘ります。柱の位置は右図とP.8の納まり図を参考に決めてください。
- ②柱が倒れないように仮固定してください。

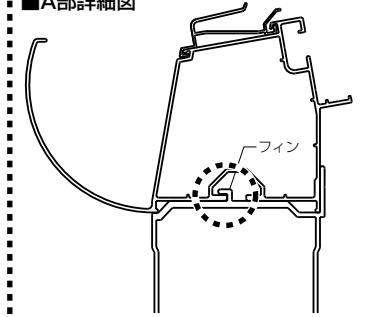


3 前枠-補強桁の取付け

- 前枠に $\phi 3.3$ の写し穴をあけた後、前枠と補強桁をねじ止めしてください。



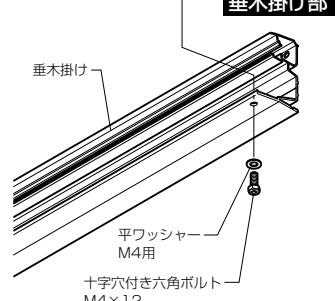
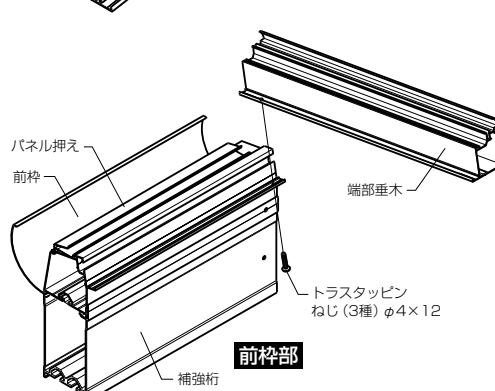
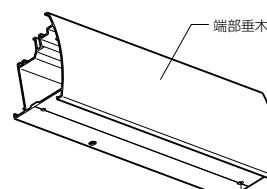
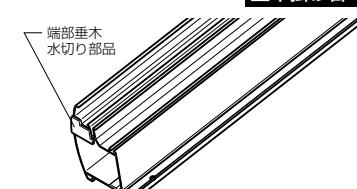
■A部詳細図



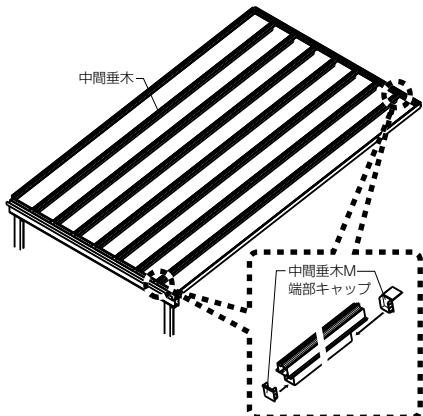
5 端部垂木の取付け

- 図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。
※端部垂木には、前後があります。端部垂木水切り部品が付いている方を前枠部に取付けてください。

垂木掛け部

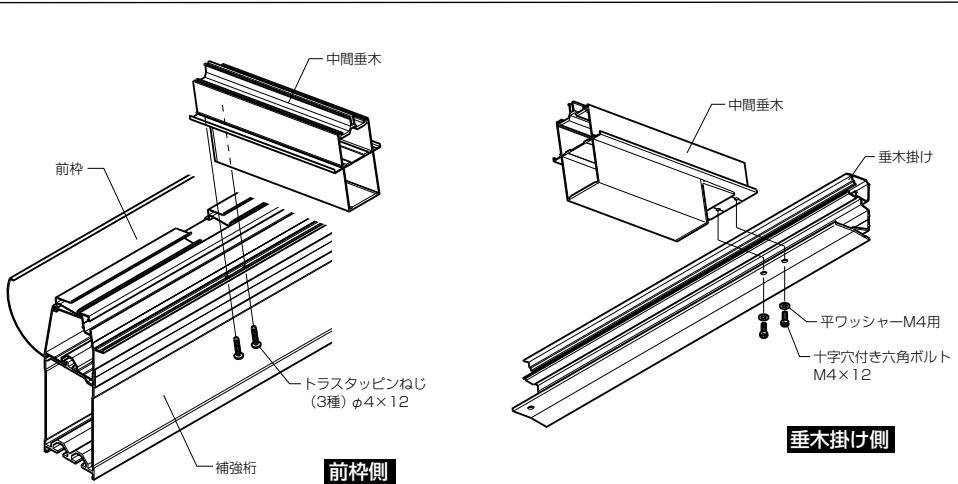
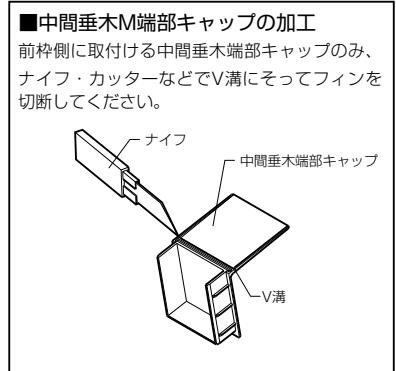
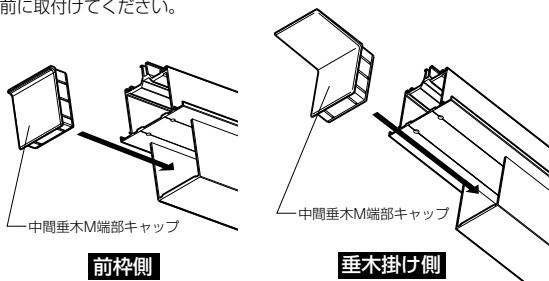


6 中間垂木の取付け

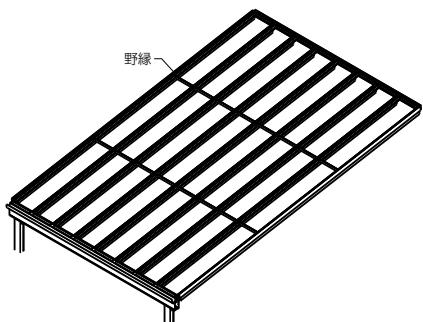


6 中間垂木の取付け

- ①中間垂木M端部キャップを取付けてください。
- ②図のように、中間垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。
- ※中間垂木には、前後があります。前後の切欠きが小さい方を前枠部に取付けてください。
- ※中間垂木M端部キャップは、中間垂木を前枠および垂木掛けに取付ける前に取付けてください。

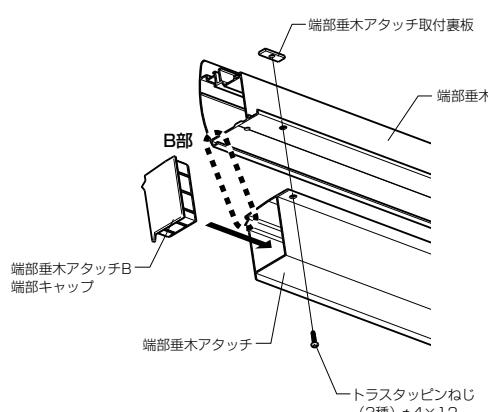


7 野縁・端部垂木アタッチの取付け

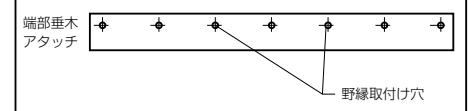


7 野縁・端部垂木アタッチの取付け

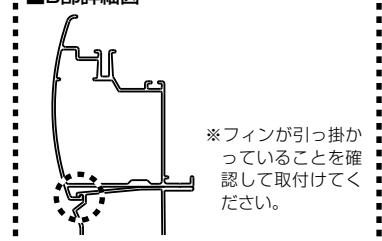
- ①端部垂木アタッチB端部キャップを取付けてください。
- ②端部垂木アタッチを、端部垂木に端部垂木アタッチ取付裏板とねじにて取付けてください。
- ※野縁が取付くところには、端部垂木アタッチ取付裏板は不要です。



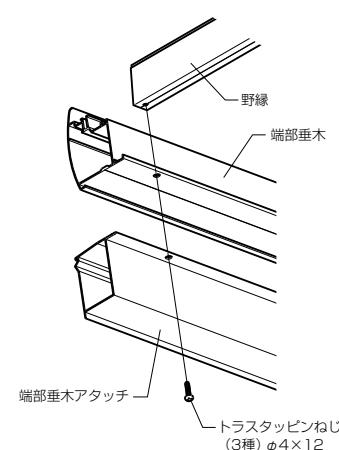
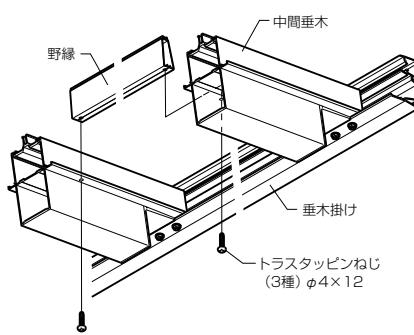
■端部垂木アタッチ野縁取付け位置



■B部詳細図

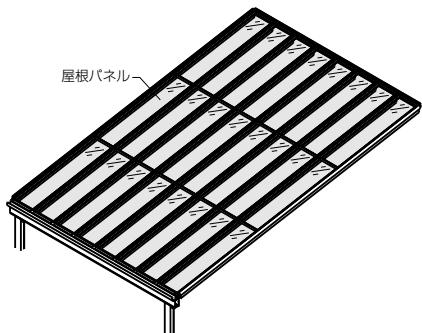


- ③真中のスパンから順に、図のように野縁を垂木にねじ止めしてください。

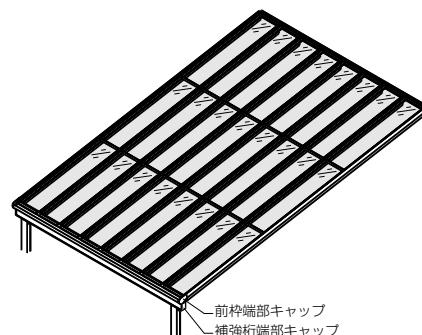


8 屋根パネルの取付け

- ①パネル押さえの位置合わせ
- ②屋根パネルの取付け



9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け

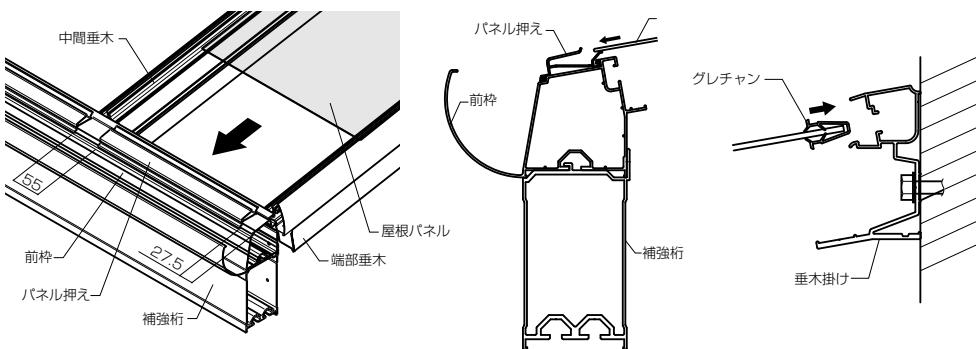


▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
 - ・信越化学工業 シーラント72
 - ・東芝シリコーン トスシール380
 - ・東レシリコーン SE960

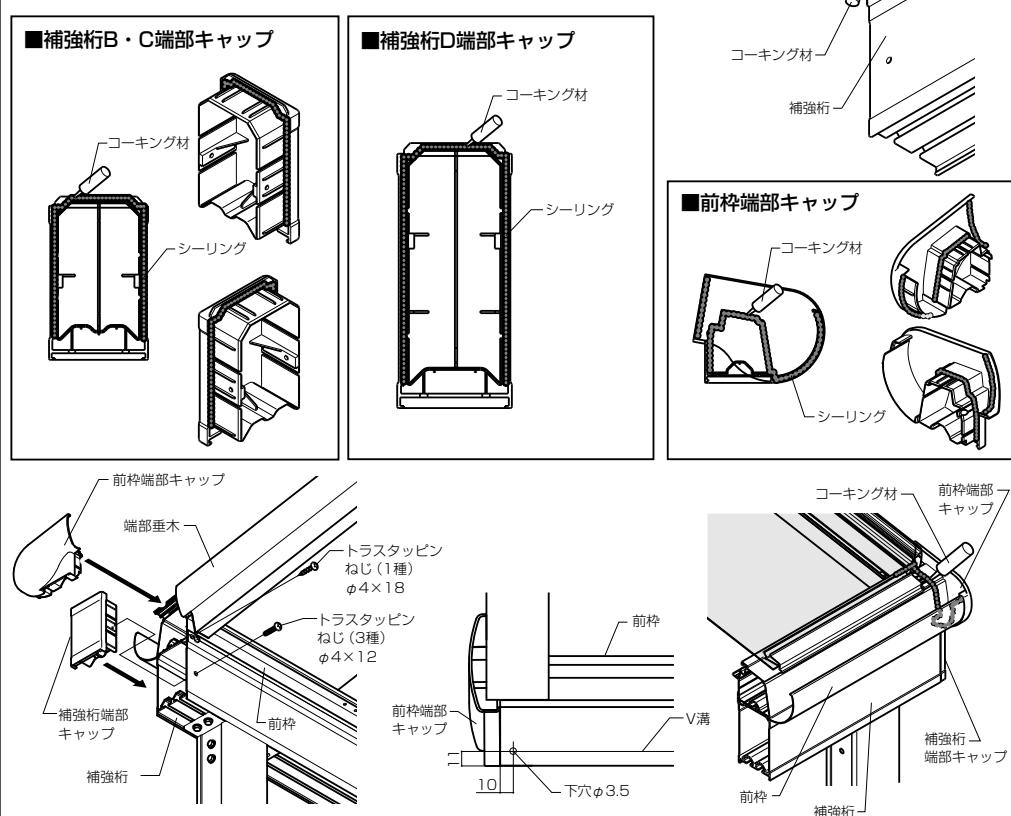
8 屋根パネルの取付け

- ①パネル押さえを図の位置に合わせます。
- ②グレチャンを取付け、図のように垂木掛け、前枠パネル押さえ部に取付けてください。

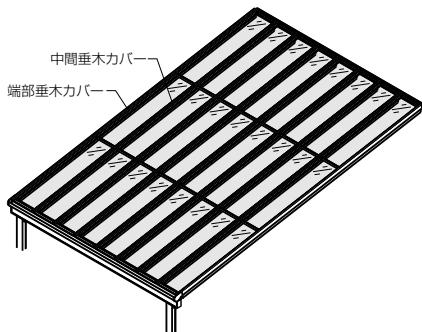


9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け

- ①前枠と端部垂木の接合部に、右図のようにシーリングしてください。
- ②補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁にねじ止めしてください。
- ③前枠端部キャップにシーリングをした後、前枠にねじ止めしてください。前枠には、下図を参考に下穴φ3.5をあけてからねじ止めしてください。
- ※補強桁端部キャップは前枠端部キャップを取付ける前に取付けてください。
- ④ねじ止めした後に、前枠内部にシーリングしてください。

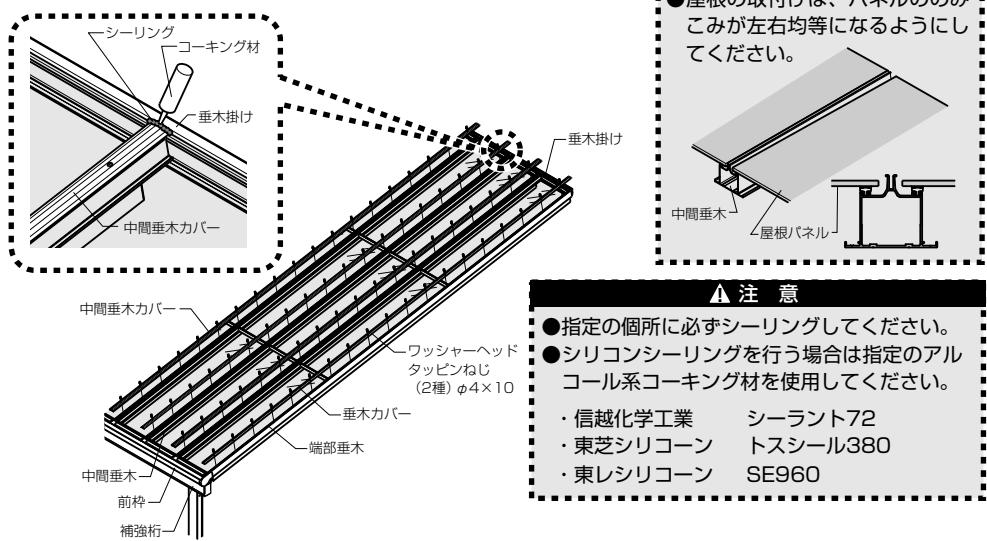


10 垂木カバーの取付け



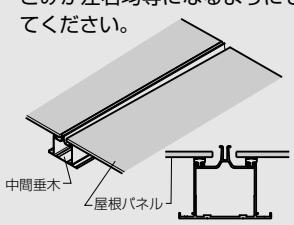
10 垂木カバーの取付け

- ①垂木カバーを垂木掛け側から押込み、図のようにねじ止めしてください。
- ②図のようにシーリングしてください。



▲ 注意

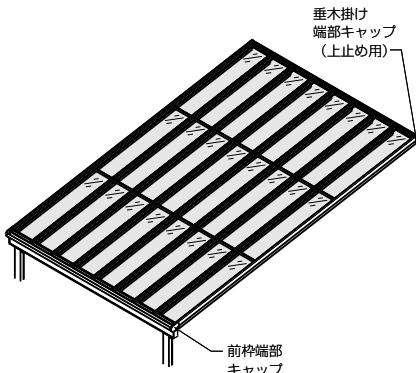
- 屋根の取付けは、パネルのみこみが左右均等になるようにしてください。



▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
 - ・信越化学工業 シーラント72
 - ・東芝シリコーン トスシール380
 - ・東レシリコーン SE960

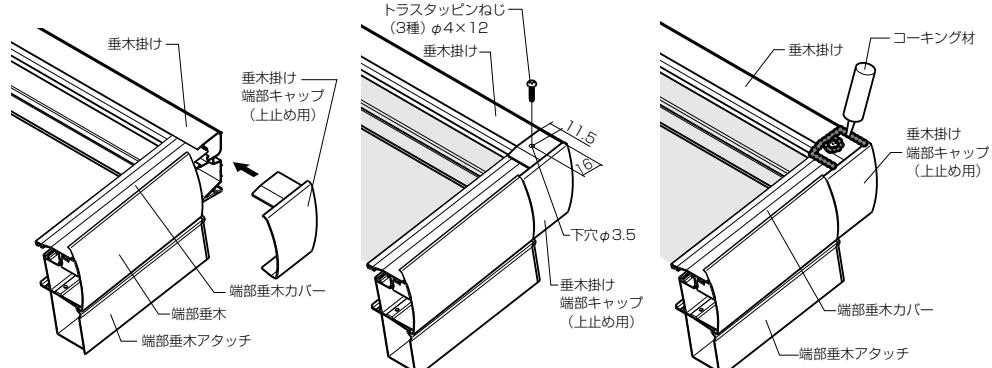
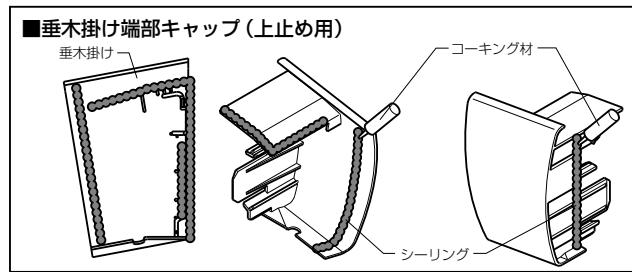
11 垂木掛け端部キャップ(上止め用)の取付け



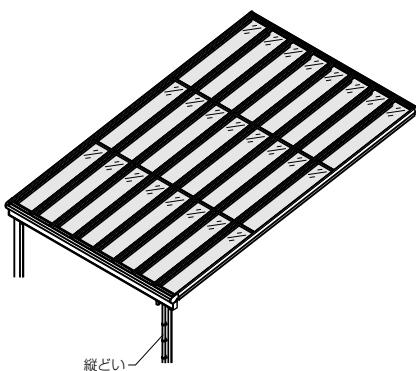
▲注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

11 垂木掛け端部キャップ(上止め用)の取付け

①垂木掛け端部キャップ(上止め用)にシーリングした後、キャップを取り付けてください。
②受け付けた端部キャップに下図を参考に下穴φ3.5をあけてください。
※障害物などによりねじの取付けが不可能な場合は、下穴加工およびねじ止めは不要です。
※下穴は垂木掛けの形材まであけてください。
③端部キャップを手回しドライバーでねじ止めしてください。
④ねじ止めした後に、垂木掛け端部キャップ(上止め用)の上部に図のようにシーリングしてください。



12 雨どいの取付け

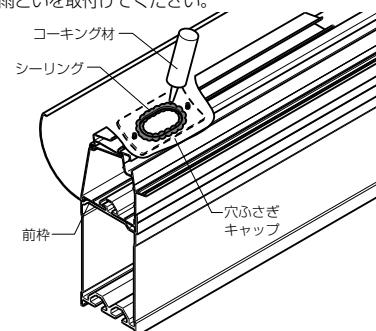


▲注意

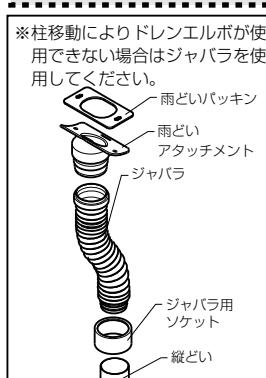
- シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・東レシリコーン SE960

12 雨どいの取付け

①図のように取付けてください。
②雨どい穴ふさぎキャップ取付け後、図のようにシーリングしてください。
※前面スクリーン(オプション)を取付ける場合は、柱の側面に縦どいを取付けてください。
※2.5・3.0間・12尺および15尺の場合は、前枠両端に雨どいを取り付けてください。

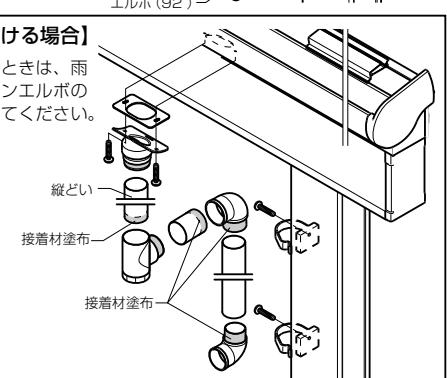


▲注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

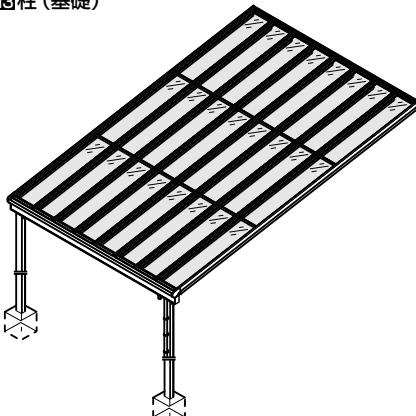


【雨どいを柱の側面に取付ける場合】

※といを柱の側面に取付けるときは、雨どいアタッチメントとドレンエルボの間に縦どいを入れて調整してください。



13 柱(基礎)

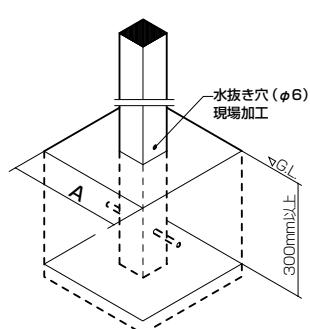


13 柱(基礎)

①図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
※A寸法はP.2の基礎サイズ表をご覧ください。
※基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。
②柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。

▲注意

- 地下埋設物(給水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。



■連棟タイプの場合

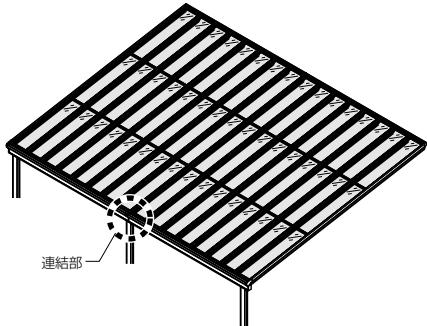
※連棟時の開口部材(前枠・垂木掛け)の切詰めは不要です。

1 前枠・補強桁の加工

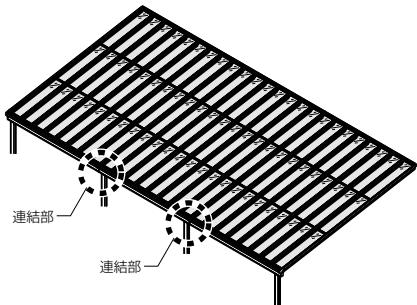
2 垂木掛けの取付け

- ①前枠スリーブの取付け
- ②前補強桁スリーブの取付け
- ③前枠ジョイントカバーの取付け

【連結部に柱が取付く場合】

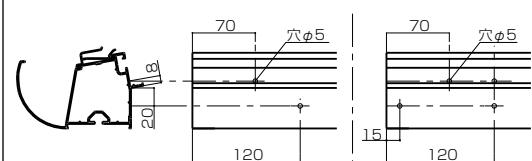


【連結部に柱が取付かない場合】



1 前枠・補強桁の加工

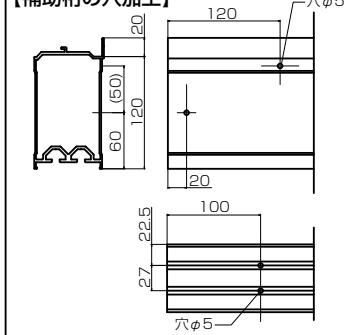
- 前枠・補強桁の連結する側の端部に、図のように $\phi 5$ の穴をあけてください。



【連結部に柱が取付く場合】

【連結部に柱が取付かない場合】

【補強桁の穴加工】

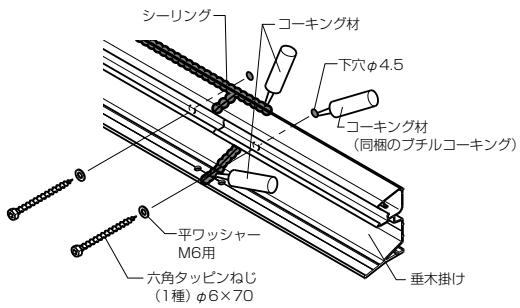


2 垂木掛けの取付け

- 垂木掛けの軸体取付け穴($\phi 6.5$)を、柱や間柱など軸体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。

▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

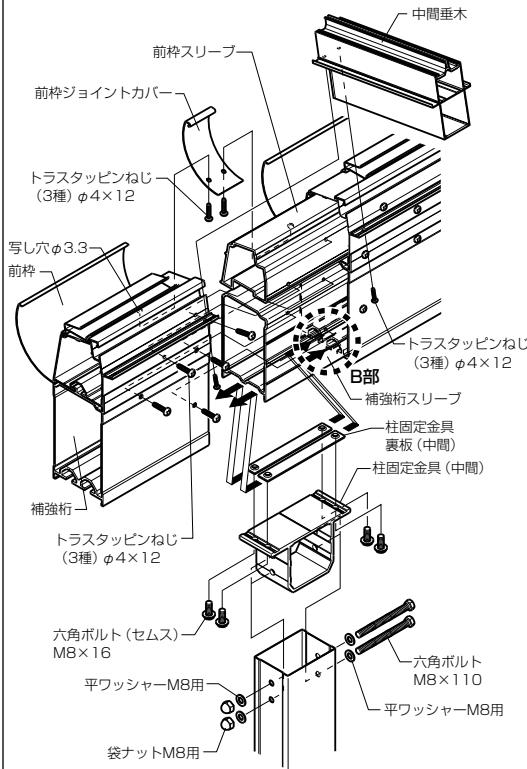


3 前枠・補強桁連結部の組立て

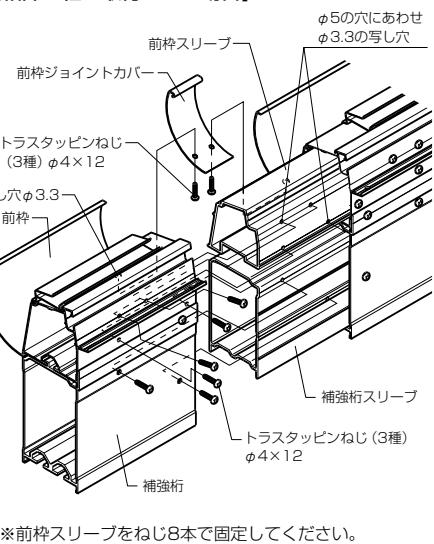
- ①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
- ②補強桁を補強桁スリーブにねじ止めます。
- ③前枠ジョイントカバーをねじ止めします。

※連結部には垂木が取付きます。

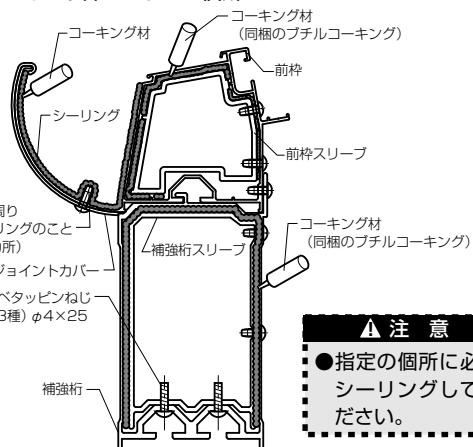
※前面スクリーン(オプション)を取付ける場合は、前枠ジョイントカバーは取付けないでください。



【連結部に柱が取付かない場合】

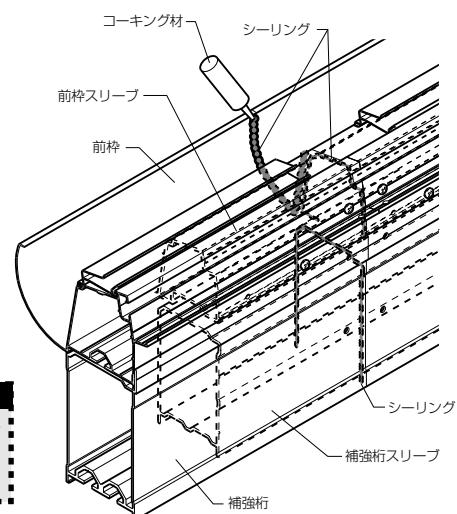


※ジョイント部シーリング箇所



▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。



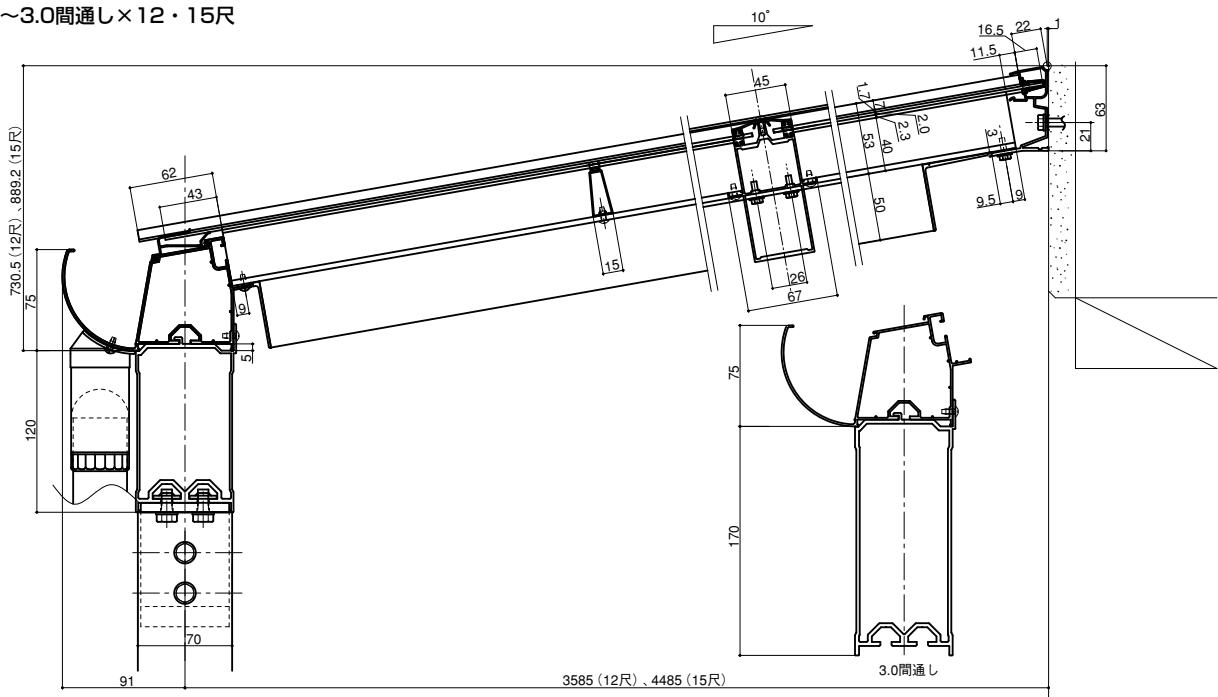
▲注意

- シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・東レシリコーン SE960

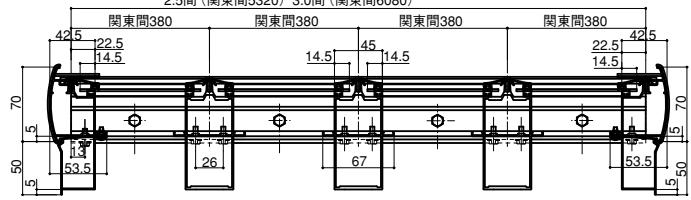
■納まり図

●600タイプ1.0～3.0間通し×12・15尺



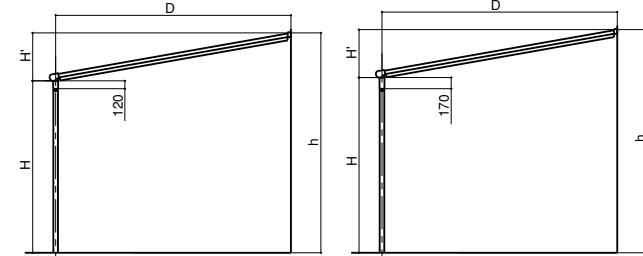
●単体

1.0間 (関東間2280) 1.5間 (関東間3040) 2.0間 (関東間3800)
2.5間 (関東間5320) 3.0間 (関東間6080)

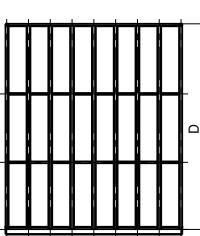
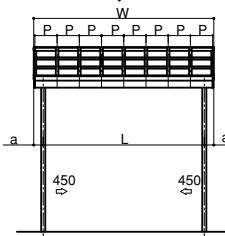


600タイプ
1.0・1.5・2.0・2.5間通し

600タイプ
3.0間通し



A視



出幅

呼称	D
12尺	3585
15尺	4485

高さ

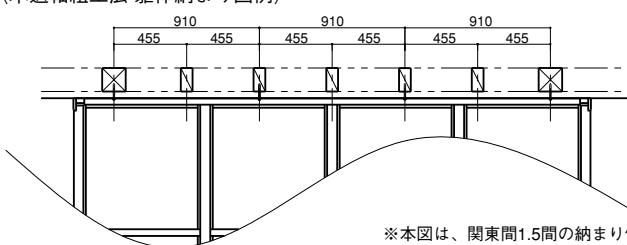
呼称	H	H'	h
12尺	2500	730.5	3230.5
15尺	3800	889.2	3389.2

間口 (関東間)

呼称	P	L	W	a
1.0間		1850	2320	235.0
1.5間		2755	3080	162.5
2.0間	380	3630	3840	105.0
2.5間		4605	5360	377.5
3.0間		5510	6120	305.0

※2.5間の場合、他の出幅サイズのL寸法と異なります。

〈木造軸組工法 車体納まり図例〉



※本図は、関東間1.5間の納まり例を示します。

間口 (関東間)

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
3.0間 (1.5+1.5)	2755	2755	—	3060	3060	—	305	305	
3.5間 (1.5+2.0)	2755	3650	—	3060	3820	—	305	170	
4.0間 (2.0+2.0)	3650	3650	—	3820	3820	—	170	170	
4.5間 (1.5+1.5+1.5)	2755	2755	2755	3060	3060	3060	457.5	457.5	
5.0間 (1.5+2.0+1.5)	2755	3650	2755	3060	3820	3060	390	390	